

けいせん

# 議会だより

第15号



## 連合審査会

(今年で三年目)

新年度予算は、総務経済建設委員会と文教厚生委員会、連合の審査会を設置し、議員全員で審査を致しました。

1年目(平成27年度)は、3日間でしたが、今回は5日間行いました。それでも日程的には過密でありましたが、様々な角度から意見を交わすことができたと思っています。今後とも議会の活性化に取り組んでまいります。

林 英明

## 男女共同参画推進

### 条例の制定

可決

▼藤川議員 委員長報告

本条例は、平成11年法律第78号男女共同参画社会基本法第9条に基づく、桂川町での男女共同参画社会の実現を図るための基本理念を掲げ、男女共同参画基本計画の実効性を保障する条例であります。

本条例を制定することにより、町・町民・自治組織・事業者等が協働し、男女が対等なパートナーとして、活力あるまちづくりを目指していく指針となるものです。当委員会は、審議の結果、全員賛成であります。

なお、男女共同参画推進の拠点整備並びに、苦情及び救済対応の専門性を高めるために推進委員の配置を強く要望して、報告を終わります。

▼町長答弁

ご指摘いただきました内容につきましては、真摯に受け止め適切に対応して参りたいと考えております。

# 議員報酬・特別職の職員及び教育長の 給与の条例の改正

可決

(11年間下げていた報酬・給与を元に戻すということです。)

## 反対討論

吉川 議員

年金のカット・消費税の増税、高すぎる介護保険や国保税など、国の悪政によって、町民の暮らしは日ましに苦しくなっております。町民の生活実態から離れて、町民の苦しみは共有できません。町民から納得を得られないものでないといけないと考えますので、反対いたします。

## 反対討論

大塚 議員

前回の選挙からの議員定数減による2名分と、今回予定の金額を積み上げれば、有効な活用が出来ると思います。未来のための保育所や教育施設改築整備基金として頂きたいので、反対致します。

## 賛成討論

林 議員

報酬審議会の答申は「議会は、11年間減額をしていること、定数削減を3度に亘って実施されていることなど、これまでの努力に対する評価は高いものがある。特別職においても、福岡県から副町長を派遣していただいているが、他の派遣受け入れ自治体との均衡を考慮すべきである。又、教育長と一般職の最高額に逆転現象が生じており、この状態を改善する必要性については尊重すべきと考える。」と、このように言っております。

議会においては、若い人が少しでも立候補しやすくするためにも、又、特別職・教育長においても、答申どおり元に戻すべきと考えますので、賛成いたします。

# 一般質問



大塚和佳議員

## 桂川駅整備について

問 平成31年度に完了予定で「橋上駅」から「2階建て駅舎」にする決めてある。また、事業等調査のため約1,000万円弱使っているが、経費等を議員に教えることはできないのか。

答(井上町長) 方法が変われば事業費も変わるのですが、まだ具体的な数値はもっていない。

問 駅の開発で、にぎわいを目指すとはどういうことか。

答(町長) 駅利用者や周辺地区の開発に伴い、そこに集う人が増え、新たな商業施設や住宅等が建てられるようになることを期待する。

問 子育て中の保護者が、駅の整備は「必要」「もう少し後でも良い」として懇談会の申し込みがあった場合は。

答(町長) 実施する。

問 特別委員会の設置は。

答(町長) 現時点では考えていない。

## 子育て支援について

問 「ひまわりのたね」に行って、利用者に意見など聞いたことがあるか。

答(町長) 直接的には聞いていない。

## 副町長の仕事について

問 副町長の再任については聞いていなかったが、副町長の仕事の評価は。

答(町長) 評価としての質問の内容が分からないし、答えようがない。

## けいせん湯の浦ファームについて

問 副町長等の簡単な説明と、町長の施政方針で1億3,200万円の事業としか説明がなかったが。

答(町長) 地域商社等と連携を

図りながら、町の農業資源を活かした仕事の創出や、福岡・北九州地区の都心圏との交流、子どもたちの体験活動の場となる拠点として整備したい。

**問** 計画するとき、議員に質問や検討依頼もなく、意見や発言する時がないし、事業計画に反映できない。議員への説明責任や、住民への情報公開が出来るか。

**答**(町長) まだ、計画の申請段階であるため説明できなかった。

### 新年度の財政状況について

**問** 平成28年度と平成29年度における普通交付税の比較と今後の予定は。

**答**(山辺企画財政課長) 平成28年度決定額は、前年度より約4.7%(約8,300万円)減、平成29年度当初予算は、前年度決定額から36%減を見込んだ予算。

**答**(町長) 健全財政を目指していく。



吉川紀代子議員

### 学童保育利用料減免について

**問** 今回、福岡県は低所得者層への学童保育利用料を減免する方向に向かっている。学童保育利用料の減免には保護者が働きやすい環境を整え、子どもの貧困を防ぐ事もできる。嘉麻市は県の制度を先取りし助成をしている。本町でも学童保育利用料の減免を早急にお願したい。

**答**(秦 子育て支援課長) 「学童保育料減免については、本町独自の減免制度はない。現在学童の利用料については、子ども1人月額5,500円、2人目以降については4,000円を頂いている。利用料減免については、検討したうえで実情に依りて対応する。

### 桂川小学校グラウンド整備について

**問** 桂川小学校グラウンドの全体的な改修はどのように考えているのか。

**答**(北原学校教育課長) 今後の学校改修のタイミングにて検討したい。

**問** 滑り台周辺の水たまりは、いつまでにどのように改修するのか。

**答**(学校教育課長) ご指摘のジャンクルームがある辺りは雨天

後に水たまりができ、水はけも悪いと言った状況にある。「築山撤去工事」に伴い発生する残土を利用する事も検討し対応する。また、現在のジャンクルームと滑り台は取り替えを予定して、設置場所については学校と協議の上決定する。

### 学校給食費の助成充実について

**問** 学校給食法は食育の推進をかね、憲法第26条は「義務教育はこれを無償とする」としている。給食費が払えずに肩身の狭い思いをしたり、生活費を切り詰めて給食費を捻出するなど、子どもたちや家庭に大きな負担となっている。こうした実態を受け、地方自治体独自の施策での無償化が広がり、子どもや家庭を励ましている。若いお父さん、お母さんの子育てを応援すべく給食費の無償化をお願いする。

**答**(学校教育課長) 現在小・中学校の給食については、小学校が3,800円、中学校が4,600円を月額給食費として保護者から頂いている。町からは月に一人当たり100円の補助金を助成し、また、町からパン包装袋代として、一食当たり35円の助成も実施している。現時点に於いて助成拡充の予定は考えていない。



下川康弘議員

### 地域商社について

**問** 地域商社は、現在どのような動きをしているのか。

**答**(森山副町長) 町が推進している「農業6次産業化プロジェクト」の中核となる組織として、農産物の「生産」「加工」「流通・販売」に関わる活動を展開している。

**問** 地域商社と「けいせん湯の浦ファーム事業」との関わり方について

**答**(副町長) 地方創生に関する拠点整備交付金事業として採択を受けたが、単なる箱もの整備ではなく、未来への投資につながるような官民協働での取組みが、国から求められている。地域商社と協議しながら、地域商社が施設の運営や農業を軸とした体験・交流事業に積極的に関わっていき、形になるよう連携・協力していきたい。

**問** 地域商社の今後の展望について。

**答**(副町長) 今後、官民協働・公民連携といった形での住民サービスや施設運営など、新たな創意工夫が求められてくる。そのような場合の連携先として、「地域商社いいバイ桂川」が、その役割を担う存在となることを希望・期待している。

### 総合体育館について

**問** 利用者が増えているようだが、その要因は。

**答**(穂坂社会教育課長) 年々利用者が増え、特に土日は大会等で100%の利用がある。要因としては、健康志向の方が増えていることや、体育館の規模が大きく、駐車場も広く利用しやすいからだと思われる。平日は地元のサークル団体の利用がほとんどであり、トレーニンググループでは週2回のトレーニング指導が好評で利用者が増えている。土日は、中体連・高体連バレー等、各競技の大会、更には、都市圏の高校の利用も年々増えている。

**問** 今後の課題として、駐車場の整備は考えてあるか。

**答**(井上町長) 町民プール跡地・ローラースケート場・テニスコート等も含めた課題として、財源も含め検討していきたい。

### 教育環境について

**問** 小・中学校のトイレの改修はどうなっているのか。

**答**(北原学校教育課長) 桂川小学校は、春休みに教職員対象に清掃業者による清掃指導を行う。中学校の臭気対策は洗管作業で対応している。トイレの洋式化については、部分的な対策にとどまらず全体的な対策が必要であることから、早急なトイレ整備計画の策定を進めて行きたい。



杉村明彦議員

### 水道事業の現状と将来の見通しについて

**問** 水道施設の適切な資産管理を推進する上で欠かすことのできない水道台帳の整備の状況はどうなっているか。

**答**(古野水道課長) 本町の場合、県や国に水道施設の更新や水利権の更新の際に提出が義務付けられているので、各施設の現状や固定資産の台帳が整備されている。

**問** 桂川町では、管路更新率は何か。

**答**(水道課長) 本町の水道管の更新については、平成23年度を最後に老朽化水道管の更新は、行っていない。

**問** 鉛管とアスベスト管の交換は終わっているか。

**答**(水道課長) 老朽化対策の一環として、平成10年度から国庫補助金と企業債を活用した石綿セメント管更新事業を平成23年度まで実施し、総延長約1万6千m・総事業費約6億9千万円をかけ事業を完了している。

**問** 管の継ぎ目に伸縮性を持たせる耐震化を今後どのように進めるか。

**答**(水道課長) 老朽化した管の更新や新たに管を布設する時には、耐震管を採用していき、今後、国が示す指針に従い改善を行っていききたい。

**問** 耐震化率はどうなっているか。

**答**(水道課長) 耐震化適合率11.10%となっている。うち基幹管路については、総延長約2万mで耐震管延長約1万m、耐震化適合率50.57%で全国平均は36.0%となっている。

**問** 桂川町のアセットマネジメントの概要は。

**答**(水道課長) 桂川町のアセットマネジメントについては、平成25年度に福岡県の指導の下、簡略型の資産管理を作成し、中期の資産の健全度・中期更新需要見通し・財政収支の見通しなど、今後の水道事業の施設改修や経営分析に役立てている。

**問** 施設更新の今後の見通しは。

**答**(井上町長) 行政報告でも言ったが、当面する課題に対応するため薬品沈殿池の設置についての方策を検討しているところだ。本町の場合、水道料金は他の市町村に比較すると安価になっているので、できればその料金を維持できるようにしたいと思う。まだ、具体策を絞り込むまでには至っていない。早急な対応が必要だと考えている。



藤川正恭議員

### ふるさと納税について

**問** 平成27年度のふるさと納税の収支はいくらになるのか。

答(井上町長) 平成27年度は約80万円の黒字、平成28年度は約120万円の黒字。

問 平成27年度の収支では雑誌、中央公論3月号によると桂川町は赤字とでているが、先ほどの答弁では黒字といていたがどちらが本当なのか。

答(山辺企画財政課長) 平成28年度は歳入158万に対して返礼品30万、他町へのふるさと納税56万で差引70万程度の黒字となる。(最終日の本会議において、赤字194,944円で訂正)

### 子どもの貧困問題について

問 平成28年9月の町長答弁で「子どもの貧困について実態調査はしていない。今後関係各課と連携を図りながら適切に対応していきたい」とあったが、その後の取り組みはどうか。

答(瓜生教育長) 貧困についての定義・基準については、いろいろな考え方、見方があると思う。文科省は就学援助実施状況を数値で表している。今後、教育委員会としても、就学支援や学習支援等に努めてまいりたい。

### 王塚古墳について

問 町・人・仕事総合戦略で王塚古墳のアクションプランとして、フアンの拡大・観光プログラムの検討・地域観光ルートの検討・王塚古墳テーマの開発等多数列記されているが、館内に展示している解説文書・絵図等に不備はないのか。

答(尾園社会教育課長補佐) 王塚古墳は、平成6年に開館した。その当時、教科書・歴史専門書等の資料を集め検討し、確認を行っている。今後の研究の進展等、必要があれば対応する。

問 館として学術論文等をこれまで何本くらい発表したのか。

答(社会教育課長補佐) 王塚古墳について学術論文として発表したものはない。

問 論文作成のために大学や研究機関からの協力依頼等はどれくらいあったのか。

答(社会教育課長補佐) 九州国立博物館では、開館以来、装飾古墳の展示や映像の作成、出土品の展示が行われており協力を行っている。



竹本慶吉議員

### 国民健康保険の

### 財政状況について

問 現在の財政状況は、赤字だと報告を受けている。主な原因があれば説明を求める。

答(平井保険環境課長) 赤字が膨らんだ要因は、歳入で平成27年度被保険者の総所得金額が、当初約18億6千万円であった。6月の本算定時では、約17億1千万円となり約1億5千万円減少し、それに伴い保険税の所得割額が、約一割(1,200万円)減少した。また歳出では、患者の重症化や高額な薬剤の保険適用拡大など予測を上回る医療費の伸びとなり、27年度決算で約1億円赤字が膨らんだ状況だ。

問 2年前に国保税を改正したばかりである。さらに改正は無理であり、ほかに対策はないのか。

答(井上町長) 国保税の新たな改正は無理で、対策としては、医療費の伸びをいかに抑制するかである。重症化の予防措置や特定健診・特定健康指導の受診率

の向上を強化し、町民の健康作りを推進する必要がある。平成30年度からの広域化は、まだ具体的なものが明確でない。国や県の広域化の動向を、注視しながら対応していく。

### 農業委員の選考について

問 3月15日から公募されるが、その内容について説明を求める。

答(山本産業振興課長) 昨年4月の法律改正により、推薦・公募により議会の同意を必要とする首長の任命制度となった。本町の定員は12名だ。

問 法改正の内容から見て認定農業者優先の制度である。本町の認定農業者はわずかで、耕作面積の圧倒的多数は先祖から相続した農地を守る零細農業者や、あえて認定農業者にならなかった人達で、現在の農地管理や治水及び農業地域の環境を守ってきた。これらの人を代弁する委員の選考も平等に行うべきだ。

答(町長) 農業委員は、農業に関する見識及び農地利用の最適化の推進、農業委員会の所掌(しよちょう)に關しその職務を適切に行う者の内から任命する。法令を遵守した候補者の選考が必要であると考えている。



# 3月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第1号	桂川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	【同意】全員賛成
承認第1号	専決処分について(児童扶養手当事務取扱いの合意及び見舞金の額を定めること)	【承認】全員賛成
議案第1号	桂川町男女共同参画推進条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第2号	桂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第3号	桂川町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第4号	桂川町教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第5号	桂川町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第6号	桂川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第7号	桂川町税条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】賛成多数
議案第8号	桂川町住宅新築資金等貸付事業基金条例を廃止する条例の制定について	【可決】全員賛成
議案第9号	平成28年度桂川町一般会計補正予算(第4号)	【可決】賛成多数
議案第10号	平成28年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第3号)	【可決】全員賛成
議案第11号	平成28年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	【可決】全員賛成
議案第12号	平成28年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	【可決】全員賛成
議案第13号	平成29年度桂川町一般会計予算	【可決】賛成多数
議案第14号	平成29年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	【可決】全員賛成
議案第15号	平成29年度桂川町土地取得特別会計予算	【可決】全員賛成
議案第16号	平成29年度桂川町国民健康保険特別会計予算	【可決】賛成多数
議案第17号	平成29年度桂川町後期高齢者医療特別会計予算	【可決】賛成多数
議案第18号	平成29年度桂川町水道事業会計予算	【可決】全員賛成
報告第1号	平成29年度桂川町土地開発公社事業計画及び予算の報告	—

## つばやき

この原稿を書いている現在、桜の花が咲き誇り、各地で桜まつりが開催されています。

桜の語源は諸説ありますが、一説によると「古事記」に出てくる「木花開耶姫」(このはなさくやひめ)の「サクヤ」が「サクラ」と呼ばれるようになったそうです。

日本各地の桜(主にソメイヨシノ)の開花日を線で結ぶと、天気図の前線の動きに似ていることから名づけられた「桜前線」は、1月下旬、南の沖縄を皮切りに北の北海道まで約5か月間にわたり日本列島を縦断します。桂川町でも、湯の浦森林公園や寿命公園など多くの場所で桜を鑑賞することができ

ます。  
桜の開花は、本格的な春の訪れを感じさせます。町民の皆さまが健やかに過ごされますよう、心からお祈り申し上げます。

原中 政廣